

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年7月11日
【四半期会計期間】	第60期第2四半期（自平成25年3月1日至平成25年5月31日）
【会社名】	アスカ株式会社
【英訳名】	ASKA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	取締役社長 杉本 篤哉
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭
【最寄りの連絡場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第2四半期連結 累計期間	第60期 第2四半期連結 累計期間	第59期
会計期間	自平成23年 12月1日 至平成24年 5月31日	自平成24年 12月1日 至平成25年 5月31日	自平成23年 12月1日 至平成24年 11月30日
売上高(千円)	10,227,622	9,237,658	19,624,950
経常利益(千円)	275,554	372,903	583,193
四半期(当期)純利益(千円)	90,146	191,148	273,660
四半期包括利益又は包括利益(千円)	129,428	588,358	426,295
純資産額(千円)	4,374,869	5,208,041	4,676,780
総資産額(千円)	17,191,744	16,677,118	17,385,441
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	15.79	33.48	47.93
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	25.4	31.2	26.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	813,766	540,322	1,703,629
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	876,385	487,441	1,567,723
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	480,514	753,773	874,857
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	786,287	790,017	1,391,970

回次	第59期 第2四半期連結 会計期間	第60期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 3月1日 至平成24年 5月31日	自平成25年 3月1日 至平成25年 5月31日
1株当たり四半期純利益金額又は1株 当たり四半期純損失金額() (円)	0.23	4.43

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、当第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の経済対策や日銀の金融政策への期待感から円高の是正と株価の上昇が進み景気に持ち直しの兆しがみられましたが、欧州の財政問題や新興国の成長鈍化等、景気の下振れリスクが残っており、引き続き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高92億3,765万円（前年同四半期比9.7%減）、営業利益は1億5,609万円（前年同四半期比32.0%減）、経常利益は3億7,290万円（前年同四半期比35.3%増）、四半期純利益は1億9,114万円（前年同四半期比112.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

〔自動車部品事業〕

エコカー購入支援政策の終了に伴い生産量が減少した結果、当事業の売上高は61億5,902万円（前年同四半期比13.5%減）となりました。

〔配電盤事業〕

新規得意先への受注拡大を積極的に展開しましたが、当事業の売上高は11億482万円（前年同四半期比22.8%減）となりました。

〔ロボットシステム事業〕

自動車部品メーカーの海外工場向けの自動化システムが好調に推移しましたが、当事業の売上高は14億7,874万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

〔モータースポーツ事業〕

イベントでの集客強化を図った結果、当事業の売上高は3億4,461万円となりました。

〔人材教育事業〕

新規得意先に対する受注活動を積極的に展開した結果、当事業の売上高は1億5,044万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ6億195万円減少し、7億9,001万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、5億4,032万円（前年同四半期は8億1,376万円の獲得）となりました。これは主にたな卸資産の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4億8,744万円（前年同四半期は8億7,638万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、7億5,377万円（前年同四半期は4億8,051万円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の純減によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は2,649万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年7月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,715,420	5,715,420	名古屋証券取引所(市場 第二部)	単元株式数100株
計	5,715,420	5,715,420	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年3月1日～ 平成25年5月31日	-	5,715,420	-	903,842	-	901,555

(6) 【大株主の状況】

平成25年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)片山	名古屋市中区丸の内3 - 5 - 35	1,049	18.36
片山 敬勝	名古屋市天白区	615	10.76
ニチアス(株)	東京都港区芝大門1 - 1 - 26	598	10.47
アスカ取引先持株会	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11	522	9.13
(株)三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1 - 1 - 2	281	4.92
アスカ社員持株会	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11	233	4.08
(株)みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行(株))	東京都千代田区内幸町1 - 1 - 5 (東京都中央区晴海1 - 8 - 12)	170	2.97
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2 - 7 - 1	150	2.62
(株)愛知銀行	名古屋市中区栄3 - 14 - 12	144	2.51
(株)三重銀行	三重県四日市市西新地7 - 8	114	1.99
(株)商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲2 - 10 - 17	114	1.99
計	-	3,992	69.86

(7) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,709,000	57,040	-
単元未満株式	普通株式 720	-	-
発行済株式総数	5,715,420	-	-
総株主の議決権	-	57,040	-

(注) 証券保管振替機構名義の株式5,000株は、完全議決権株式(その他)欄の株式数に含まれておりますが、同機構名義に係る議決権50個は、同欄の議決権の数には含まれておりません。

【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アスカ(株)	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地	5,700	-	5,700	0.10
計	-	5,700	-	5,700	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年12月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,391,970	790,017
受取手形及び売掛金	2,810,848	2,659,401
商品及び製品	108,251	94,888
仕掛品	981,512	589,840
原材料及び貯蔵品	261,725	260,999
その他	790,797	543,952
流動資産合計	6,345,105	4,939,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,991,313	2,907,719
機械装置及び運搬具(純額)	1,502,203	1,310,374
土地	3,901,631	3,901,631
その他(純額)	613,375	1,299,162
有形固定資産合計	9,008,522	9,418,887
無形固定資産	18,671	16,936
投資その他の資産		
投資有価証券	1,131,683	1,456,371
その他	881,457	845,822
投資その他の資産合計	2,013,141	2,302,194
固定資産合計	11,040,335	11,738,018
資産合計	17,385,441	16,677,118
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,913,249	1,643,569
短期借入金	1,650,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,908,828	2,178,719
未払金	1,671,383	1,324,512
未払法人税等	48,197	115,574
賞与引当金	14,432	18,394
その他	686,483	643,107
流動負債合計	7,892,574	6,023,877
固定負債		
長期借入金	3,891,597	4,474,891
退職給付引当金	563,600	602,313
役員退職慰労引当金	245,790	256,040
その他	115,098	111,953
固定負債合計	4,816,086	5,445,199
負債合計	12,708,660	11,469,076

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	901,555	901,555
利益剰余金	2,732,669	2,866,720
自己株式	3,505	3,505
株主資本合計	4,534,562	4,668,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,334	431,734
為替換算調整勘定	3,808	101,871
その他の包括利益累計額合計	137,143	533,606
少数株主持分	5,074	5,821
純資産合計	4,676,780	5,208,041
負債純資産合計	17,385,441	16,677,118

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	10,227,622	9,237,658
売上原価	9,328,183	8,419,674
売上総利益	899,439	817,983
販売費及び一般管理費	669,885	661,887
営業利益	229,553	156,096
営業外収益		
受取利息	312	7,879
受取配当金	9,893	9,954
為替差益	1,024	135,730
その他	62,529	92,594
営業外収益合計	73,759	246,159
営業外費用		
支払利息	25,681	25,941
その他	2,077	3,410
営業外費用合計	27,758	29,351
経常利益	275,554	372,903
特別損失		
減損損失	-	62,040
投資有価証券売却損	4,906	-
投資有価証券評価損	28,298	-
特別損失合計	33,204	62,040
税金等調整前四半期純利益	242,350	310,863
法人税、住民税及び事業税	20,409	125,779
法人税等調整額	131,793	6,020
法人税等合計	152,203	119,759
少数株主損益調整前四半期純利益	90,146	191,104
少数株主損失()	-	43
四半期純利益	90,146	191,148

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	90,146	191,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,282	298,399
為替換算調整勘定	-	98,854
その他の包括利益合計	39,282	397,254
四半期包括利益	129,428	588,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,428	587,611
少数株主に係る四半期包括利益	-	747

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	242,350	310,863
減価償却費	364,841	397,015
減損損失	-	62,040
のれん償却額	74,665	-
賞与引当金の増減額(は減少)	8,489	3,962
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	10,250	10,250
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,800	38,713
投資有価証券評価損益(は益)	28,298	-
デリバティブ評価損益(は益)	2,648	16,581
受取利息及び受取配当金	10,205	17,834
支払利息	25,681	25,941
固定資産除売却損益(は益)	295	1,593
投資有価証券売却損益(は益)	4,906	-
売上債権の増減額(は増加)	482,907	151,446
たな卸資産の増減額(は増加)	253,155	405,761
仕入債務の増減額(は減少)	218,235	269,680
未払金の増減額(は減少)	227,561	377,515
未払消費税等の増減額(は減少)	62,714	6,565
その他	243,672	117,855
小計	830,085	601,556
利息及び配当金の受取額	10,943	18,052
利息の支払額	25,885	25,348
法人税等の支払額	9,681	57,672
法人税等の還付額	8,304	3,735
営業活動によるキャッシュ・フロー	813,766	540,322
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	270,779	780,595
有形固定資産の売却による収入	-	221
無形固定資産の取得による支出	-	1,738
投資有価証券の取得による支出	29,245	-
投資有価証券の売却による収入	84,996	88,000
貸付けによる支出	32,750	2,982
貸付金の回収による収入	1,952	214,300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	626,013	-
その他の支出	4,646	4,646
その他の収入	100	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	876,385	487,441

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	600,000	1,550,000
長期借入れによる収入	900,000	1,900,000
長期借入金の返済による支出	1,002,425	1,046,815
配当金の支払額	17,060	56,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	480,514	753,773
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,067	98,940
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	422,963	601,952
現金及び現金同等物の期首残高	363,323	1,391,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	786,287	790,017

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産のうち定率法を採用するものについては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
荷造運搬費	222,180千円	213,541千円
賞与引当金繰入額	2,425	2,504
退職給付費用	3,941	5,870
役員退職慰労引当金繰入額	10,250	10,250

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
現金及び預金勘定	786,287千円	790,017千円
現金及び現金同等物	786,287	790,017

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月21日 定時株主総会	普通株式	17,129	3	平成23年11月30日	平成24年2月22日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月26日 定時株主総会	普通株式	57,096	10	平成24年11月30日	平成25年2月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 取締役会	普通株式	22,838	4	平成25年5月31日	平成25年8月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	人材教育 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	7,117,378	1,430,222	1,531,881	-	148,141	10,227,622	-	10,227,622
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,316	23,846	101,227	-	2,632	129,023	129,023	-
計	7,118,694	1,454,068	1,633,109	-	150,773	10,356,645	129,023	10,227,622
セグメント利益又は損失 ()	20,372	104,236	142,719	74,665	34,821	227,483	2,070	229,553

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額2,070千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、株式会社岡山国際サーキットを新たに連結子会社としたことにより、「モータースポーツ事業」においてのれんが74,665千円発生し、発生時に全額償却しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	人材教育 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	6,159,020	1,104,825	1,478,749	344,619	150,443	9,237,658	-	9,237,658
セグメント間の内部 売上高又は振替高	899	5,828	18,120	375	1,773	26,996	26,996	-
計	6,159,920	1,110,653	1,496,869	344,994	152,216	9,264,655	26,996	9,237,658
セグメント利益	2,634	9,586	65,476	30,132	41,187	149,016	7,080	156,096

(注)1. セグメント利益の調整額7,080千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは中長期経営計画の策定にあたり管理区分を見直したことにより、当第2四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しております。

変更後の報告セグメントは、「自動車部品事業」、「配電盤事業」、「ロボットシステム事業」、「モータースポーツ事業」及び「人材教育事業」であります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	15円79銭	33円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	90,146	191,148
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	90,146	191,148
普通株式の期中平均株式数(株)	5,709,684	5,709,684

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年6月27日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....22,838千円

(ロ) 1株当たりの金額.....4円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年8月9日

(注) 平成25年5月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 7月10日

アスカ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野 裕之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 隆行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアスカ株式会社の平成24年12月1日から平成25年11月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年12月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アスカ株式会社及び連結子会社の平成25年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれておりません。